

1月9日：VN指数は7連騰に歯止め (VN-Index -0.14%)

- VN指数は1,160pt付近での抵抗帯で利益確定売りに見舞われた。ただし、売り方の勢いは小幅であった。
- 特に、小売と石油ガスセクターの下落が大きく、指数は前場に小幅下落した。
- 後場には大幅な売り越しが発生し指数は続落した。それでも、取引終了間近には買戻しが優勢となり、相場を下支えした。
- セクター別では、銀行セクターが主要銀行株の上昇により好調だった。
- 銘柄別では157銘柄が上昇、340銘柄が下落、70銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は4.1%減少し、18.4兆ドンとなった。

VN30指数は相場を減速 (VN-30 -0.28%)

- 大型株で構成されるVN30指数は、7銘柄が上昇、19銘柄が下落、6銘柄が変わらずとなった。
- CTG (+1.52%)、TCB (+1.17%)、VCB (+1.15%)といった銀行銘柄が指数をリードし、楽観的であった。
- 対照的に、PLX (-1.84%)やVRE (-1.48%)、ACB (-1.38%)などが大きく下落した。

セクター・個別株の動き

- VBB (+0.88%)は、総計1兆ドン相当の債券の公募を計画。主に、補完資本、長期の貸出、リスク管理の改善に用いられる。発行予定日は3月27日で、投資家は1月10日～3月26日の期間に購入登録可能。最適購入額は5口(5000万ドン)から。
- 石油ガスセクターは、原油価格が3%以上下落したことを受け、下落した。サウジアラビアによる供給量増加に加えた急激な値下げ実施が原因。中東における地政学リスクの高まりによる供給懸念分が相殺された。

- 外国人投資家は 1170 億ドンの売り越しとなった。売り越し銘柄は引き続き VNM (-0.15%)、FUEVFNND (-0.04%)、VRE (-1.48%)。一方、HPG (-0.54%) と VCB (+1.15%) が最も買い越された。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。